

平成29年度

社会福祉法人 阿闍羅会

障害福祉サービス事業所

【就労移行支援】

【就労支援B型事業】

ワークショップ大鰐

事業報告

平成30年5月28日作成

住 所：青森県南津軽郡大鰐町大字虹貝

字篠塚33番地11

電 話：0172-48-3662

F A X：0172-48-3028

| | |
|-------------------|-----|
| 〈Ⅰ〉 支援内容 | |
| 1 生活支援 | 1 |
| 2 就労移行支援 | 2 |
| 3 作業支援 | 2 |
| (1) 農産事業 | 3 |
| (2) しいたけ事業 | 4 |
| (3) 内部事業 | 4 |
| 4 工賃向上計画に関する報告 | 6 |
| 5 保健支援 | 7 |
| 6 余暇活動支援 | |
| (1) 行事等 | 8 |
| (2) 利用者会活動 | 8 |
| 〈Ⅱ〉 給食 | 1 1 |
| 〈Ⅲ〉 防災 | 1 2 |
| 〈Ⅳ〉 広報 | 1 3 |
| 〈Ⅴ〉 研修及び会議 | |
| 1 会議開催状況 | 1 4 |
| 2 研修等参加（実施）状況 | 1 6 |
| 〈Ⅵ〉 苦情解決 | 1 9 |
| 〈Ⅶ〉 地域生活支援 | 1 9 |
| 〈Ⅷ〉 共同受注窓口 | 2 0 |
| 〈Ⅸ〉 安全巡視（虐待防止委員会） | 2 2 |

〈Ⅰ〉 支援内容

〈Ⅰ〉－1 生活支援

担当：山川裕紀子

日常生活に必要な、基本的な生活習慣の自立を目的とした。

自立性を養い、毎日の積み重ねによって望ましい習慣の形成や、社会生活の態度・性格の社会的適応性を育成し、地域生活への移行を念頭においた支援をした。

また、保護者・グループホーム利用者においては世話人などと情報共有しながら快適な生活を送れるよう支援した。

(1) 支援内容

①基本的習慣の定着

- ・あいさつ、排泄、生理の手当て、衣類の着脱・調整・たたみ方、歯磨き、手洗い、食事とその後始末、整理整頓、掃除、洗濯支援、入浴支援をした。

②コミュニケーションの支援

- ・言語の表出が難しい利用者に対しては、できるだけ普通の言葉で話しかけたり行動を気に掛けるよう配慮した。
- ・パニックに対する本人への支援としては、本人が伝えたいことがあるなど気づいてあげることや理解できるよう視覚支援を用いたりした。

③行動に支障がある利用者に対する支援

- ・精神障害に関する理解とそれに関する支援として、利用者が納得できるまで話しを聞いたり、できるだけ本人の気持ちに寄り添えるよう配慮した。
- ・身体障害（盲・聾を含む）に関する理解とそれに関する支援として、筆談を用いたり、作業説明をするときなどは、個別に話したり顔をみて話したり配慮した。
また、車輛の乗り降りなど介助が必要な際など安全面に配慮した。
- ・発達障害に関する支援として、それぞれの特性に応じた環境作り（特性に応じた作業に取り組みせる）やスケジュールの変更などは、事前に知らせるなど配慮した。

④日常生活を送る為に安全な環境作りの支援

- ・作業場の整理整頓をし足場等に危険がなく、利用者が作業しやすいように配慮した。
- ・行事活動及び休憩時間等に怪我をしないように注意した。
- ・奇数月に職員が両施設やグループホームの安全巡視を行い危険と思われる箇所の改善・管理等を行った。
- ・ヒヤリハットの報告を徹底し未然に事故が起きないように、また再発防止に勤めるように話し合いを行った。

〈Ⅰ〉－２ 就労移行支援

担当：鎌田健司

今年度は就労移行利用者から就労に対するニーズが低く、障害者集団面接会への1名のみの参加となった。面接会では2社へ面接を受けたがそのどちらも不採用の通知を受けている。

平成30年1月中旬に津軽障害者就業・生活支援センターより、社会福祉法人七峰会「山郷館くろいし」での障害者雇用が実施されるにあたり、先の利用者に対し声を掛けて頂いた。本人・保護者から確認後、通勤訓練を実施し、就労実習を平成30年3月下旬に実施。採用の内定を頂く。

しかし、平成30年4月中旬に「山郷館くろいし」よりハローワークへ求人申請が出されているが、ハローワーク内で申請書類の手続きが混雑しているようで5月中の面接予定と採用までの手続きが遅れている。

(1) 実習並びに就労実績

○実習実績 1名

○就労実績 なし

(2) 就労アセスメント

実績なし

(3) 次年度への課題

- ・引き続き各関係機関との連携による情報収集を図ります。
- ・利用者の就労に必要なコミュニケーション能力向上を図ります。
- ・利用者の就労に対する具体的なイメージ構築を図る支援策を立てます。
- ・利用者の特性に合った実習先・就労先を見つけ継続して続けられるように計画を立てて行きます。

〈Ⅰ〉－３ 作業支援

- ・平成29年度は、しいたけ事業への参入でショップからも職員1名、利用者5～6名が日々しいたけ作業に取り組んできた。そのことにより、基本的作業の収穫、移動、ハウス内清掃は習得できた。
- ・次年度は、しいたけ作業に今以上に集中的に取り組み、取り組める利用者の数を増やし職員も含めたしいたけ作業のスキルアップを目指す。
- ・作業全体としては1つの作業だけでなく、様々な作業内容に取り組む方向で進めてきたことにより、利用者の持っている力を再確認するとともにスキルアップにもつなげる結果となった。このことが、新たな作業に対しても幅広く取り組むことができ、工賃評価の向上にもつなげることができた。
- ・平成29年度は、工賃目標平均月額7,800円に設定して取り組んだ。事業収入は赤字となったが、利用者個々のスキルアップにより工賃評価が向上したため、工賃平均月額は8,103円になった。(詳細は、目標工賃達成状況参照)

〈I〉 - 3 (1) 農産事業

担当：山中司

【年間合計収入 952,976円】

① 野菜栽培 950,476円

栽培品目・・・長ネギ・ラディッシュ・枝豆

販売先・・・近隣ラーメン店、鰐カム、大鰐町学校給食センター、いとく(株)あらき(幸楽苑)、近隣住民等

○ 今年度の状況及び次年度の課題

- ・天候不順により畑内の雪解けが遅く、冬越ししたネギにつぼみが付いたため商品として販売することができなかった。
- ・日照不足や仕入れた苗の成長不足などが重なり、ネギ1本当たりの予想重量(重さ)を確保することができなかった。
- ・連作障害を避けるため4分の1を休耕とし、転作他品種の栽培(ラディッシュ、枝豆)を実施した。品種に対する知識が乏しく、定植や収穫が予定どおり進められず収穫・販売が適期に実施できなかった。
- ・畑の環境整備を目標に挙げていたが、予算の都合上、機械(重機、側溝作りなど)を導入できず、引き続き利用者、職員の手作業で進めざるを得なかった。
- ・平成30年度は、長峰の約4反の畑を使用し、長ネギの作付け栽培の予定である。(ホワイトサマー40枚(早ネギ))を定植し収穫の増収を目標としている。また、近隣住民から要望があった畑での自作看板の設置、畑沿いに無人販売の設置にも取り組んでいく予定である。

② 施設外就労 2,500円

作業内容 . . . リンゴ収穫、枝拾い

○ 今年度の状況及び次年度の課題

- ・ 近隣農家からの依頼を受け、農地に出向き作業を実施した。リンゴ収穫作業時のリンゴ運びなどを行った。
- ・ 平成30年度も地域農家との連携（農福連携）という意味合いも含めて、依頼に応じる予定である。

〈I〉 - 3 (2) しいたけ事業

担当：幸山稚子

【年間作業収入 0円】

○ 今年度の状況及び次年度への課題

- ・ 平成29年度は、5月からしいたけ作業に職員及び利用者が慣れることを目標におこなった。
- ・ 平成29年10月までの間に、5名の利用者に対し収穫、収穫補助及び菌床移動作業を中心に支援を重点的に行い、職員の支援なしに作業ができる状況まで成長している。さらに、平成29年10月から、前期の5名に新たに6名を加えて合計11名の利用者で収穫及び菌床移動の作業に取り組んだが、菌床移動に関してまだ支援が必要な利用者があり、平成30年度への課題となっている。
- ・ しいたけ加工（乾燥しいたけ）の作業に関しては、現在3名の利用者に取り組んでおり、準備から片付けまでできるようになっている。
- ・ 平成30年度は、キャンパスへ移動しての作業のため車両出発時間厳守と、平成29年度にしいたけ作業に携わっていない利用者の育成を目標とする。

〈I〉 - 3 (3) 内部事業

担当：山内彩子

【年間合計収入 2,829,853円】

① 受託部門

(有) アール（縫製作業） . . . 297,464円

- ・ 平成29年度は、水着組立作業が7月いっぱい終了した。8月は作業がなかったものの、9月からはシール貼りなどの作業があり、ほぼ1年を通して作業に取り組むことができています。
- ・ 難易度の高い作業も多く、単価が前年度より高いものもあったが、その分作業に取り組める利用者が限られてしまい職員の負担が多かった。

- ・ 今ままでは、女性利用者が作業に携わることが主だったが、男性利用者も作業に加わる機会を増やしている。
- ・ 平成30年度は、男女を問わず適性を見ながら縫製作業に取り組める利用者を増やしていきたい。

リンクフーズ（玉ねぎの皮むき）・・・ 823, 628円

- ・ 平成26年から始まった作業であり、12月から3月までの短期間の作業ではあったものの利用者が作業に慣れ大分作業効率も上がってきていたため、通年での受注により増収を図った。
- ・ 平成29年度は、作業場に冷房設備を整え長ネギの収穫調整時期を除き、通年の作業として先方から了解を得ていた。しかし、先方の都合で作業受注量が半減したことで予想の収入を上げることができなかった。
- ・ 取引価格の折り合いがつかないことと受注量の回復が見込めなかったことにより、協議の上、平成30年3月末で終了している。

今井産業（ハニカムボード）・・・ 0円

- ・ 平成28年度4月から新規事業として取り組んだが、先方の都合により同年11月で終了（中断）している作業である。
- ・ 先方から別な商品の仕上げ作業を提供したいとのことだったが、平成29年度は依頼のない状況が続いたため、平成30年度は、事業として予定しないこととした。

東北クリーン（リサイクル）・・・ 1, 079, 686円

- ・ 平成29年4月より取引業者が変更となったが、回収作業は毎日途切れることなく行うことができ、作業の流れの定着や利用者の技術の向上により効率が良く作業を進めることができている。
- ・ 利用者の各家庭からもアルミ缶の回収を呼びかけ、日常的に回収に協力してもらうことにより収益を増やすことができた。
- ・ 平成30年度は、回収場所・量を増やすことにより収益を増やすとともに、回収方法等の見直しによりガソリン代などの経費削減にも努めていきたい。

その他

雑収入・・・ 3, 331円

② 自主部門

タオル名入れ印刷・・・ 625, 744円

- ・ 印刷補助作業ができる利用者も増え、大分効率があがっている。
- ・ 現在、取引先は、かっぱ温泉、山口石油、農協に限られているが、取引先を新規開拓し増収を目指したい。

〈I〉 - 4 工賃向上計画に関する報告

担当 山中 司

(1) 目標工賃達成状況

| | | 目 標 | | | | | 対 27年度 比 (%) |
|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----------------|
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | |
| A 目標平均工賃(月額) (円) | E ÷ F | 6,666 | 7,599 | 8,103 | 8,000 | | |
| B 年間総収入 (千円) | | 8,891 | 5,279 | 4,221 | 6,800 | | 47 % |
| C 年間総原価(工賃除く) (千円) | | 5,859 | 3,482 | 1,988 | 3,000 | | 34 (%) |
| D 工賃支払前収支 (千円) | B - C | 3,032 | 1,797 | 2,233 | 3,800 | | 74 (%) |
| E 年間工賃総額 (千円) | | 2,922 | 2,611 | 3,196 | 3,200 | | 109 (%) |
| F 年間延べ利用者数 (人) | | 435 | 350 | 410 | 446 | | 94 (%) |

※ 全工賃÷全日数×20の計算式で平均値計算を出した。新規利用者は4～6月の3ヶ月分は計算に入れていない。不定期利用者は計算から除く。

- ・ 平成29年度は、目標工賃を7,800円に設定した。達成状況は、赤字決算ではあるものの上表のとおり8,103円である。これは、前述のとおり利用者個々の工賃評価向上によるものであり、収支状況からすれば農産事業に関する天候不順等の不可抗力を考慮しても目標工賃設定に見通しの甘さがあった。
- ・ 平成30年度は、各事業の経費削減と取り組みの強化により増収を図るとともに、しいたけ事業からの収益(年間210万円程度)が見込まれるため、赤字決算の解消を前提として目標工賃を平成29年度並みの8,000円に据え置いて設定し取り組むこととした。

(2) 次年度の工賃向上へ向けた課題と取り組み

① 農産事業

- ・ 長ネギの栽培については、平成29年度は、購入した苗の成長の遅さや日照不足による生育不足、ネギの病気などにより予定収量に達することができなかった。
- ・ 病気に関しては育成管理を十分に行い、病気の予防と発症した際の早期対応を徹底し収量減を未然に防止する。
- ・ 平成30年度の販売面については、「くるまやラーメン」との新規委託契約を交わし増収を図るとともに、平成29年度に引き続き地域の食堂等にも販路を広げる。

② しいたけ作業

- ・ 平成29年度は、作業収入なしで利用者・職員の「しいたけ作業」習得を最優先して取り組んだ。
- ・ 平成30年度は、法人としてワークキャンパス大鰐と連携し一体化した取り組みで増収を図る。このことにより、しいたけ事業全体の収入から一定額(年間210万円程度)の収入を得て、他事業の収入と合わせて目標工賃達成を目指したい。

- ・ しいたけ作業の増収を図るため、利用者・職員を増員するとともに育成のための新たなプログラムを構築して取り組む。

③ 内部事業

- ・ リンクフーズ（玉ねぎ皮むき）の作業は、取引価格の折り合いと受注量の大幅減により平成30年3月で終了したが、アール（縫製作業）や東北クリーン（リサイクル）、自主部門のタオル作業は、平成30年度も安定した作業が得られる見通しである。作業効率の向上を目指すとともに作業工程の工夫等により増収を目指したい

※ しいたけ事業を中心に据えた上記3事業を柱として作業に取り組むが、障害特性や得手不得手等により、しいたけ栽培・加工の各作業に慣れるまで時間を要する利用者のため、しいたけ事業以外の事業は、当面継続した上で段階的に縮小する方向で調整する。

〈I〉 - 5 保健支援

担当：山川裕紀子

(1) 保健指導年間実施表

| | |
|-----------------|---|
| 定期健康診断 | 6 / 1 ~ 16、 10 / 31 |
| 身体測定 (血圧・体重) | 5 / 8・9、 7 / 10・11、 9 / 11・12 11 / 13・14、 1 / 15・16、 3 / 12・13 |

(2) 体力測定

10月 7日(土) レクリエーションに組み込み実施

(3) 保健日誌からのまとめ

- ・ 感染症予防のうがい・手洗いを徹底し声かけを実施。(アルコール消毒液を設置)
- ・ 12月よりインフルエンザ予防対策とし毎朝の検温を実施。
インフルエンザ予防接種を12月5日(火)、希望利用者21名に小山内医院でショップに往診し実施。今年度のインフルエンザ罹患者は2名。
- ・ 女子利用者に生理の手当やエチケットについての保健指導を実施。
- ・ 毎日の利用者さんの表情や行動からその日の健康状態(特に精神状態)を把握し作業中の事故などを未然に防ぐ様に支援していく。

- ・梅雨時、夏場の気温上昇時は水分補給や休憩を増やすなどの対策により何人かの体調不良の訴えがあったが、熱中症までには至らなかった事は評価できるので、今後も注意深く利用者さんの様子を観察しながら支援していく。

〈I〉 - 6 余暇活動支援

〈I〉 - 6 (1) 行事等

| 実施日 | 行事名 (参加人数) | 実施場所 |
|------------|--------------------|----------------------|
| 4月15日 (土) | 保護者会総会・三者面談 (27) | ワークショップ大鰐 |
| 4月22日 (土) | ミニ運動会 (20) | 弘前市南富田体育館 |
| 5月 3日 (土) | 桜をみよう (14) | 石川大仏公園 |
| 5月27日 (土) | 遠足 (17) | 八甲田ロープウェー |
| 6月21日 (水) | さくらんぼ狩り (31) | 平川市兼春さくらんぼ園 |
| 6月24日 (土) | スポーツレク (19) | スキーセンタープラザ |
| 7月 1日 (土) | 西地区レクリエーション大会 (18) | 五所川原市営球場となりサブ球場 |
| 7月15日 (土) | 親子バーベキュー (20) | ワークショップ大鰐 |
| 8月 9日 (水) | ふれあい広場 (31) | 大鰐町総合福祉センター |
| 8月19日 (土) | 流しそうめん (20) | ワークショップ大鰐 |
| 8月27日 (日) | 青森県障害者スポーツ大会 (30) | 青森総合運動公園 |
| 9月10日 (日) | ワークまつり (25) | ワークキャンパス大鰐 |
| 9月30日 (土) | DVD観賞 (15) | ワークショップ大鰐 |
| 10月 7日 (土) | 体力測定と調理学習 (17) | ワークショップ大鰐 |
| 10月21日 (土) | 三者面談 (26) | ワークショップ大鰐 |
| 11月 3日 (土) | カラオケ (28) | カラオケ合衆国城東店 |
| 12月 2日 (土) | 親子忘年会 (28) | 焼肉モーモー |
| 12月 9日 (土) | 社会見学 (22) | 陸上自衛隊弘前駐屯地 |
| 12月16日 (土) | クリスマスお楽しみ会 (24) | ワークショップ大鰐 |
| 1月 6日 (土) | 新年会 (21) | ワークショップ大鰐 |
| 1月20日 (土) | ラーメン外食 (24) | 大鰐駅～大円寺～日景食堂 |
| 2月 3日 (土) | 温泉に行こう (22) | 鰐 come |
| 2月17日 (土) | 親子ボウリング (28) | ファミリーボウル、ちょう家 |
| 3月 3日 (土) | おいしい鍋を作ろう (20) | ワークショップ大鰐 |
| 3月17日 (土) | 映画鑑賞・買い物 (20) | ワークショップ大鰐・マックスバリュ大鰐店 |

※ 平成29年度は、計25回の行事を実施した。

〈I〉 - 6 (2) 利用者会活動

①利用者全体会

担当：山中司

偶数月の初日に15時頃から、利用者会を実施。行事等の話し合いや、各委員会からの報告等をしてもらった。また、頑張った人の発表では、作業や生活面で頑張った人を発表し、利用者会から賞状を贈呈してみんなの前で今後の抱負などを発表してもらった。

| 実施日 | 主な内容 |
|-----------------|--|
| 平成29年 4月 3日 (月) | <ul style="list-style-type: none"> ・新会長，副会長の挨拶 ・新利用者紹介 ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (2月・3月) ・その他 (平成29年度の委員会の希望をとった。) |
| 6月 1日 (木) | <ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (4月・5月) ・各委員会から ・その他 |
| 8月 3日 (木) | <ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (6月・7月) ・各委員会から ・その他 (ワークまつり利用者出し物について) |
| 10月 2日 (月) | <ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (8月・9月) ・各委員会から ・その他 (12月の忘年会について) |
| 12月 1日 (金) | <ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (10月・11月) ・各委員会から ・その他 |
| 平成30年 2月 7日 (水) | <ul style="list-style-type: none"> ・行事について ・行事の感想 ・頑張った人 (12月・1月) ・各委員会から ・その他 |

②行事委員会

担当：金枝友和

平成29年度計画にある「カラオケ」「親子忘年会」「親子ボウリング」の行事について、下記のと通りの会議を実施、行事の内容・委員会の役割について会議を行った。「忘年会」については司会進行等の練習のため打ち合わせを増やし行事に必要な物の買い出し等にも取り組んだ。

| 月 | 日 | 曜日 | 内 容 | 場 所 | 備 考 |
|---|---|----|--------------------|-----------|-----------------|
| 5 | 9 | 火 | ぎようじ いんかい 行事委員会 | ワークショップ大鰐 | りようしゃ 利用者 7名 |

| | | | | | |
|----|----|---|-----------|-----------|-----------------|
| 5 | 23 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 8名 |
| 6 | 13 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 10名 |
| 6 | 27 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 6名 |
| 7 | 15 | 土 | 親子バーベキュー | ワークショップ大鱈 | 保護者 13名・利用者 20名 |
| 10 | 10 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 10名 |
| 10 | 24 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 8名 |
| 11 | 7 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 10名 |
| 12 | 2 | 土 | 親子忘年会 | 焼き肉モーモー | 保護者 8名・利用者 28名 |
| 1 | 9 | 火 | 行事委員会 | ワークショップ大鱈 | 利用者 7名 |
| 2 | 17 | 土 | 親子ボウリング大会 | 朝日フォーラム 他 | 保護者 8名 利用者 28名 |

③お茶委員会

担当：山川裕紀子

利用者の毎日のお茶や農産作業用のお茶の準備、休憩時のテーブル拭きやおやつの準備など各担当を決めて行った。毎日の委員会の仕事を通し、自主性・責任感を養った。

各担当の活動日は、毎日『朝・休憩・昼休み・帰りの会后』とし、それぞれの担当が不在の時は、別の担当者がおこなった。

また、毎月最終週の水曜日を会議日とし、翌月のおやつの計画をたてている。

| 月 | 日 | 曜日 | 内容 | 場所 | 備考 |
|----|----|----|-------|-----------|---------|
| 4 | 12 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 10名 |
| 4 | 26 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 5 | 31 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 9名 |
| 6 | 28 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 7 | 26 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 8 | 30 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 7名 |
| 9 | 27 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 10 | 25 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 11 | 29 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 12 | 27 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 1 | 31 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 2 | 28 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |
| 3 | 28 | 水 | お茶委員会 | ワークショップ食堂 | 利用者 8名 |

④広報委員会

担当：幸山稚子

- ・行事の写真・掲示物の張り替えをおこなった。
- ・年度初めに年間を通しての掃除分担を決め掲示した。
- ・活動日（委員会会議）は随時としたが下記の2回だけの会議となった。

4月10日 委員会の役員を決める会議

6月2日 広報委員会役割分担を決める会議

〈Ⅱ〉 給食

担当：山口美香

①平成29年度 給食指導 対象者 男 2名 女 7名 計 9名

| 指導内容 | 具体的指導方法 | 対象者 |
|----------|----------------------------|------------|
| 咀嚼・嚥下の補助 | ①主菜・副菜～刻み食。 | 女2名 男2名 |
| 糖尿病対策 | ①食事療法。 | 女2名 |
| 肥満対策 | ①主食の量を軽くする。 ②主菜・副菜～刻み食。 | 女4名 男2名 |
| 食事の補助 | ①フォークの使用。 | 女1名 |

※全体的に早食い傾向なので、全利用者に対して落ち着いてゆっくりよく噛んで食べ、口の中の物を飲み込んでから、新たに口に運ぶように声かけをしている。

②平成29年度 年間行事食実施表

| 月 | 行事 | 献立名 | 実施日 | 備考 |
|----|-------|------------------------------------|---------|----|
| 7 | 七夕 | 冷やしうどん | 7月 6日 | |
| 9 | 十五夜 | 栗ごはん | 9月 13日 | |
| 10 | いも煮会 | 米沢風いも煮 | 10月 3日 | |
| 12 | 冬至 | かぼちやのいところ煮 | 12月 19日 | |
| 12 | クリスマス | コンライス、ハンバーグ、パンプキン スープ、ゼリー(グレープ) | 12月 25日 | |
| 3 | ひなまつり | ちらし寿司 | 3月 2日 | |

③平成29年度 郷土食 年2回 実施。

④平成29年度 嗜好調査 3ヶ月に1回 計4回 実施。

⑤平成29年度 給食だより 3ヶ月に1回 計4回 発行。

まとめ・反省

- ・野菜の残食が減ってきているので、維持していきたい。
- ・今年度も行事食・嗜好調査・給食だよりを実施する事が出来たので、来年度も維持していきたい。皆さんが興味がわく給食だよりを発行していきたい。
- ・来年度も利用者の楽しみになるような新メニューを出していきたい。
- ・かさ増し食材をもっと利用して、低カロリーでたくさん食べれるメニューを増やしていきたい。
- ・平成30年度も健康的で、利用者に喜ばれる給食作りをしていくということを大切にしていきたい。また、今年度は調味料のかけ過ぎを減らしていきたい。

〈Ⅲ〉 防災

担当：田中大生

(1) 実施状況

①ワークショップ大鱈

| 実施日 | 訓練種別 | 訓練時間 | 想定 | 震度・出火場所 | 避難場所 | 避難時間 |
|--------|------|-------------|----|---------|------|-------|
| 5 / 25 | 部分 | 11:40~11:55 | 地震 | 震度4 40秒 | 駐車場 | 3分32秒 |
| 9 / 27 | 総合 | 10:35~11:05 | 火災 | 1階 厨房 | 駐車場 | 未計測 |
| 3 / 7 | 総合 | 10:30~11:00 | 火災 | 1階 事務室 | 駐車場 | 3分11秒 |

- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・「おはしも」の徹底（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない）をした。
- ・職員に対し、消火・誘導・放送の分担を明確にして責務を果たした。
- ・消火器を実際を使用して消火訓練を行なった。
- ・平成30年度に向けて、防火管理者担当の育成をした。

②グループホームすみれ荘

| 実施日 | 訓練種別 | 訓練時間 | 想定 | 震度・出火場所 | 避難場所 | 避難時間 |
|-------|------|-------------|----|---------|------|-------|
| 3 / 7 | 総合 | 16:40~17:00 | 火災 | 2階 居室 | 駐車場 | 1分37秒 |

- ・9月27日に予定した防災訓練については、担当職員不在のため未実施。
- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・「おはしも」の徹底（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない）をした。
- ・職員に対し、普段一人勤務のため、第一優先は「人命」であることを再確認した。
- ・避難する際に行うべき機器の取り扱いについて、世話人に指導した。

③グループホームこすもす

| 実施日 | 訓練種別 | 訓練時間 | 想定 | 震度・出火場所 | 避難場所 | 避難時間 |
|-------|------|-------------|----|---------|------|-------|
| 3 / 7 | 総合 | 16:40~17:00 | 火災 | 2階 居室 | 駐車場 | 1分39秒 |

- ・9月27日に予定した防災訓練については、担当職員不在のため未実施。
- ・利用者に対し、点呼時返事を大きくするように指導を行った。
- ・「おはしも」の徹底（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない）をした。
- ・職員に対し、普段一人勤務のため、第一優先は「人命」であることを再確認した。
- ・避難する際に行うべき機器の取り扱いについて、世話人に指導した。

(2) 次年度への課題・方向付け

- ・全職員が消火器の取り扱い方を覚えるようにしたい。

- ・放送機器の取り扱いと順序の再確認が必要。
- ・防災訓練があること自体で、落ち着かなくなり、訓練に参加できない利用者の対応。
- ・平成30年度、担当者（防火管理者）の変更。

〈IV〉 広報

(1) 広報誌「阿闍羅」 担当：佐藤直幸、田中大生、山内彩子、金枝友和

①内容

- ・平成29年度は、予定していた広報誌を発行することが出来なかった。

②次年度への課題

平成30年度は、新たな担当に引き継ぎ、発行するようにする。

(2) ホームページ 担当：中畑幸、鎌田健司、山川裕紀子、田中大生

①内容

- ・いくつかの出店活動をアップしたが、平成29年度ほとんど更新できていない。

②次年度への課題

平成28年度中に作らなければいけなかった、津軽地区障害者就労継続支援事業所共同受注窓口としてのサイトを平成29年度も作成出来ず、平成30年度は、青森県からの「障害者就労施設工賃向上支援事業」の委託もあり作成が必要である。

また、ホームページ更新ができる職員の育成をする。

阿闍羅会公式ホームページURL

<http://ajarakai.jp/>

阿闍羅会フェイスブックURL

<https://www.facebook.com/ajarakai>

(3) その他の広報

担当：竹内友紀、幸山稚子

①大鰐文化協会総会等に出席

- 4月20日：文化協会総会 大鰐町中央公民館（竹内友紀・幸山稚子）
- 8月9日：文化協会理事会 大鰐町中央公民館（幸山稚子）
- 10月6日：文化協会理事会 大鰐町中央公民館（田中大生）
- 11月30日：文化協会反省会 大鰐町中央公民館（不参加）

②大鰐町民文化祭への参加

平成29年11月2日（木）～4日（土）に大鰐町中央公民館で開催された大鰐町民文化祭に作品を展示。

③地域のまつり等へ参加

共同受注窓口を中心に、施設紹介を含め、生産物の紹介及び展示即売をしながら参加した。

「参加状況」

- ・大鰐温泉つつじまつり
- ・各施設のまつり
- ・農福連携マルシェ
- ・鰐 come 祭り
- ・まるごと大鰐商人市
- ・もったいない広場&ふくしまルシェ

〈V〉 研修及び会議

〈V〉 - 1 会議開催状況

(1) 事業会議

担当：植田善久、幸山稚子

| 開催日 | 会議名 | 構成員 | 会議内容 |
|-----------|----------|-------------|---------------|
| 3月16日（木） | 4月 | 阿闍羅会 全職員 | ・次月の各業務予定報告 |
| 4月27日（月） | 5月 | | ・作業予定 |
| 5月25日（木） | 6月 | | ・収支報告（就労会計） |
| 6月20日（木） | 7月 | | ・外商業務報告 |
| 7月20日（木） | 8月 | | ・行事計画立案検討 |
| 8月24日（木） | 9月 | | ・虐待防止委員会報告 |
| 8月29日（火） | ワークまつり会議 | | ・安全巡視報告 |
| 9月21日（木） | 10月 | | ・その他の事業展開について |
| 10月19日（木） | 11月 | | など |
| 11月16日（木） | 12月 | | |
| 12月21日（木） | 1月 | | |
| 1月25日（木） | 2月 | | |
| 2月20日（火） | 3月 | | |

(2) 給食会議

担当：山口美香

| 開催日 | 構成員 | 会議内容 |
|---------------------------|-------------|---|
| 事業会議と同日開催 ※ワークまつり会議を除く | 阿闍羅会 全職員 | <ul style="list-style-type: none"> ・給食業務、内容の協議 ・嗜好調査の検討 ・調理、味付けの工夫等の検討 ・利用者給食指導の内容報告と検討 |

(3) ケース会議・就労会議

担当：中嶋綾子

| 開催日 | 会議名 | 会議内容 | 構成員 |
|-----------|------|--------------------|------------------|
| 4月24日(月) | 第1回 | ①職員の資質向上に関すること | ワークショップ大綱 全職員 |
| 5月16日(火) | 第2回 | ・研修報告 ・職員研修 | |
| 6月1日(水) | 第3回 | ・ヒヤリハット事例検討 | |
| 7月6日(水) | 第4回 | ②利用者の個別支援に関すること | |
| 8月8日(水) | 第5回 | ・支援計画書、モニタリング記録表 | |
| 9月7日(火) | 第6回 | ・ケースカンファレンス | |
| 10月23日(水) | 第7回 | ・家庭訪問記録、実習・就労支援記録表 | |
| 11月2日(木) | 第8回 | ・作業能力評価 ・三者面談の内容報告 | |
| 12月7日(金) | 第9回 | ③行事計画に関すること | |
| 1月12日(水) | 第10回 | ・行事計画 | |
| 2月1日(水) | 第11回 | | |
| 3月1日(木) | 第12回 | | |
| 22日(木) | 第13回 | | |
| 27日(火) | 第13回 | | |

〈Ⅴ〉 - 2 研修等参加（実施）状況

【県社協・保健大学 主催研修】

| 実施日 | 研修名 | 場所 | 参加者 |
|-------------|------------------------|----------------|-----------|
| 4月26日 | 社会福祉法人のための決算実務セミナー | 県民福祉プラザ | 三上拓雄、相馬良子 |
| 5月26日 | 障害者福祉施設新任職員研修 | 青森県立保健大学 | 金枝友和 |
| 6月22日 | 社会福祉施設経理研修 | 青森県立保健大学 | 相馬良子 |
| 7月27日 | 栄養・食育マネジメントセミナー | 青森県立保健大学 | 山口美香、三浦節美 |
| 8月8日 | ソーシャルワーク・スーパービジョン研修 | 青森県立保健大学 | 田中大生 |
| 8月19日 | 社会福祉トップセミナー | 青森県立保健大学 | 田中大生 |
| 8月29日～8月30日 | ソーシャルワーク・スーパービジョン研修 | 青森県立保健大学 | 田中大生 |
| 9月20日 | 社会福祉施設職員研修 | 青森県立保健大学 | 木田繁子 |
| 12月21日 | 青森県障害者虐待防止・権利擁護研修(従事者) | リンクステーションホール青森 | 金枝友和 |
| 12月22日 | 青森県障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者) | リンクステーションホール青森 | 白石安英 |
| 1月17日 | 経営者支援セミナー(離職防止環境整備) | ウエディングプラザアラスカ | 田中大生 |
| 2月15日 | 経営者支援セミナー(メンタルヘルス) | ウエディングプラザアラスカ | 白石安英 |

【知的障害者福祉協会 主催研修】

| 実施日 | 研修名 | 場所 | 参加者 |
|-------------|-----------------------|----------------|---|
| 7月4日～7月5日 | 全国知的障害関係施設長等会議 | 東京国際フォーラム | 佐藤直幸、白石安英 |
| 10月5日～10月6日 | 青森県知的障害者福祉協会職員・利用者研修会 | 青森国際ホテル | 白石安英、山川裕紀子、外崎砂斗美 |
| 11月12日 | 青森県手をつなぐ育成会合同研修 | 青森県総合社会教育センター | 田中大生 |
| 2月10日 | 生産活動・就労支援部会職員研修会 | リンクステーションホール青森 | 白石安英、佐藤直幸、田中大生、幸山稚子、鎌田健司、山中司、山内彩子、山川裕紀子、金枝友和、工藤香織 |

【青森県 主催】

| 実施日 | 研修名 | 場所 | 参加者 |
|-------------|---------------------------|---------------|------------------------------------|
| 4月26日 | 社会福祉充実計画策定に係わる説明会 | 県民福祉プラザ | 佐藤直幸 |
| 10月5日～10月6日 | 相談支援従事者初任者研修 | 県民福祉プラザ | 中畑幸、幸山稚子 |
| 11月15日 | 障害福祉サービス事業所等認証評価制度 説明会 | 県民福祉プラザ | 佐藤直幸、田中大生 |
| 12月6日 | サービス管理責任者研修 | 県民福祉プラザ | 中畑幸、幸山稚子 |
| 1月10日 | 障害福祉サービス事業所等認証評価制度 専門セミナー | ラ・プラス青い森 | 佐藤直幸、田中大生 |
| 1月29日～1月30日 | サービス管理責任者研修(介護) | 県民福祉プラザ | 中畑幸 |
| 1月31日～2月1日 | サービス管理責任者研修(就労) | 県民福祉プラザ | 幸山稚子 |
| 3月1日 | B型事業所工賃向上研修会 | 青森男女共同参画プラザ | 田中大生 |
| 3月20日 | 平成29年度指定福祉サービス事業者等集団指導 | リンクモア平安閣市民ホール | 白石安英、佐藤直幸、田中大生、中平恵美、三上拓雄、中嶋綾子、相馬良子 |

【阿闍羅会 主催研修】

| 実施日 | 研修名 | 場所 | 参加者 |
|--------|------------------------|-----------|-----|
| 4月6日 | 職員スキルアップ研修 第1回 | ワークショップ大鰐 | 25名 |
| 6月3日 | 自動車安全運転研修 | ワークショップ大鰐 | 28名 |
| 6月8日 | 障害福祉基礎研修 第1回 | ワークショップ大鰐 | 9名 |
| 6月29日 | 障害福祉基礎研修 第2回 | ワークショップ大鰐 | 12名 |
| 7月27日 | 障害福祉基礎研修 第3回 | ワークショップ大鰐 | 11名 |
| 8月31日 | 障害福祉基礎研修 第4回 | ワークショップ大鰐 | 8名 |
| 9月28日 | 障害福祉基礎研修 第5回 | ワークショップ大鰐 | 9名 |
| 10月26日 | 障害福祉基礎研修 第6回 | ワークショップ大鰐 | 5名 |
| 11月30日 | 職員スキルアップ研修 第2回 | 鰐come | 37名 |
| 12月28日 | 障害福祉基礎研修 第7回 | ワークショップ大鰐 | 12名 |
| 1月27日 | 虐待防止研修 | ワークショップ大鰐 | 31名 |
| 2月22日 | 職員スキルアップ研修 第3回 | ワークショップ大鰐 | 24名 |
| 3月29日 | 障害福祉基礎研修 第8回(しいたけ伝達含む) | ワークショップ大鰐 | 17名 |

【その他研修】

| 実施日 | 研修名 | 場所 | 参加者 |
|---------------|-------------------|-------------------------|------------------------|
| 4月12日 | 2017春の業務用食品展示会 | 青森産業会館 | 山口美香、三浦節美 |
| 5月11日 | 安全運転管理者講習 | 大鰐町総合福祉センター | 田中大生 |
| 5月11日～5月12日 | 防火管理者講習 | あそべる | 鎌田健司 |
| 5月31日～6月2日 | 自閉症支援入門研修会 | 国際障害者リハビリセンター学院 | 山内彩子 |
| 6月16日 | コンプライアンス・虐待防止セミナー | あいおいニッセイ弘前支社 | 田中大生 |
| 7月6日 | サンマッシュ夏季セミナー | 岩手県奥州市文化会館Zホール | 植田善久 |
| 7月28日 | 2017安全衛生大会 | 青森市中央市民センター | 三上拓雄、相馬良子、田中大生 |
| 8月22日 | 鰐come産直の会視察研修 | 鰐come | 山中司 |
| 8月24日 | 労務管理研修 | 県民福祉プラザ | 三上拓雄、相馬良子 |
| 9月2日 | 第5回 全国権利擁護支援実践交流会 | 弘前文化センター | 佐藤直幸、白石安英、田中大生 山中妙子 |
| 10月4日 | 社会福祉法人会計・経営セミナー | アスパム | 三上拓雄・相馬良子 |
| 10月18日 | 人事労務・就業規則セミナー | 弘前市民会館 | 田中大生 |
| 10月28日～10月29日 | アセスメント研修 | 県民福祉プラザ | 佐藤直幸 |
| 11月7日～11月8日 | 青森県社会就労センター協議会研修会 | スマイルホテル | 白石安英、田中大生、鎌田健司 |
| 12月8日 | 黒石養護学校 学校見学 | 黒石養護学校 | 白石安英、山川裕紀子、金枝友和、中畑幸 |
| 1月20日 | 青森県相談支援専門員等協会 研修 | しあわせプラザ | 田中大生 |
| 1月30日～1月31日 | 北研全国大会 | 郡山 ホテルハマツ | 植田善久 |
| 2月8日 | 衛生管理者委員会 研修会 | サンライフ弘前 | 三上拓雄・相馬良子 |
| 3月22日～3月23日 | 東北地区春季視察研修会 | JAあさひな培養センター/ホテルメルパルク仙台 | 植田善久 |

【総会・会議等】

| 実施日 | 会議名 | 場所 | 出席者 |
|-------------|-----------------------|---------------|----------------|
| 4月16日 | 弘前市手をつなぐ育成会 総会 | 弘前市社会福祉センター | 佐藤直幸、白石安英 |
| 4月19日 | 鰯come産直の会 総会 | 鰯come | 佐藤直幸、白石安英、田中大生 |
| 4月20日 | 大鰯町文化協会 総会 | 大鰯町中央公民館 | 幸山稚子、竹内友紀 |
| 4月20日～4月21日 | 青森県知的障害者福祉協会 総会 | 青森国際ホテル | 佐藤直幸、白石安英 |
| 4月25日 | 大鰯温泉観光協会 総会 | 大鰯町中央公民館 | 佐藤直幸 |
| 4月26日 | まるごと大鰯商人の会 会議 | 日景食堂 | 田中大生、鎌田健司 |
| 4月27日 | つつじまつり出店説明会 | 大鰯町中央公民館 | 鎌田健司 |
| 5月2日 | 農福連携マルシェ打ち合わせ会議 | 弘前市社会福祉センター | 田中大生、鎌田健司 |
| 5月7日 | 鰯come業者協力会「鰯の会」役員会 | 鰯come | 田中大生 |
| 5月15日 | 大鰯町農業再生協議会 総会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 5月18日 | 中小企業家同友会 津軽支部例会 | 正観湯 | 田中大生 |
| 5月22日 | 弘前自閉症児者親の会 総会 | 弘前市社会福祉センター | 佐藤直幸 |
| 5月22日 | 安全運転管理者協会 総会 | 不二やホテル | 田中大生 |
| 5月26日 | さくらジョブネット 総会 | フォルトーナ | 白石安英、鎌田健司 |
| 5月30日 | 中南地域自立相談窓口ネットワーク会議 | 弘前市民会館 | 白石安英、田中大生 |
| 5月30日 | 鰯come業者協力会「鰯の会」総会 | 鰯come | 佐藤直幸、白石安英、田中大生 |
| 5月31日 | 大鰯町地域自立支援協議会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 6月5日 | 西地区レクリエーション大会 | ラグリー | 山中司、田中大生 |
| 6月13日 | 大鰯町社会福祉協議会 評議員会 | 大鰯町総合福祉センター | 白石安英 |
| 6月20日 | 大鰯温泉つつじまつり 反省会 | 大鰯町中央公民館 | 鎌田健司 |
| 6月22日 | ひろネットオンブズマン委員会 総会 | 弘前市総合学習センター | 白石安英、中嶋綾子 |
| 6月25日 | 青森県手をつなぐ育成会大会 総会 | 青森県総合社会教育センター | 白石安英 |
| 6月30日 | 津軽障害者就業・生活支援センター連絡協議会 | ラグリー | 鎌田健司 |
| 8月9日 | 大鰯町文化協会理事会 | 大鰯町中央公民館 | 幸山稚子 |
| 10月6日 | 大鰯町地域自立支援協議会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 10月6日 | 大鰯町文化協会理事会 | 大鰯町中央公民館 | 田中大生 |
| 10月25日 | まるごと大鰯商人の会 総会 | 鰯come | 鎌田健司 |
| 11月7日 | 大鰯町社会福祉協議会 評議員会 | 大鰯町総合福祉センター | 白石安英 |
| 11月20日 | 津軽障害者就業・生活支援センター連絡協議会 | ラグリー | 鎌田健司 |
| 11月22日 | 大鰯町福祉大会 | 大鰯町総合福祉センター | 秋元広光、佐藤直幸 |
| 12月25日 | 大鰯町地域自立支援協議会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 1月26日 | 大鰯町農業再生協議会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 2月9日 | 大鰯町農業再生協議会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 2月28日 | 大鰯町地域自立支援協議会 | 大鰯町役場 | 田中大生 |
| 2月28日 | さくらジョブネット 福祉施設合同説明会 | ホテルナクアシティ弘前 | 田中大生 |
| 3月2日 | 農山漁村振興交付金説明会 | 橋市盛岡ビル4階 | 佐藤直幸、三上拓雄 |
| 3月14日 | 中南地域自立相談窓口ネットワーク会議 | 藤崎町文化センター | 白石安英、田中大生 |

※平成29年度 研修等参加件数 計 57件
 研修参加人数 延べ310名
 総会会議出席件数 計 35回

※訂正線 参加予定だったが所用等により不参加

〈Ⅵ〉 苦情解決

(1) 施設担当職員

苦情解決責任者 施設長 白石安英
苦情受付担当者 主任 中嶋綾子

(2) 第三者委員

ひろさき地域福祉ネットワーク・オンブズマン委員会（ひろネット）
訪問委員 寺口美代子、工藤昌子 （2名）

(3) 訪問記録

| 訪問日 | 委員名 | 状況と問題点 |
|-----------|-------|------------------|
| 4 / 2 6 | 寺口、工藤 | 6名の利用者と面談 特に問題なし |
| 5 / 2 2 | 寺口、工藤 | 5名の利用者と面談 特に問題なし |
| 6 / 2 6 | 寺口、工藤 | 5名の利用者と面談 特に問題なし |
| 7 / 2 6 | 寺口、工藤 | 5名の利用者と面談 特に問題なし |
| 8 / 2 8 | 寺口、工藤 | 3名の利用者と面談 特に問題なし |
| 9 / 2 6 | 寺口、工藤 | 6名の利用者と面談 特に問題なし |
| 1 0 / 2 4 | 寺口、清藤 | 6名の利用者と面談 特に問題なし |
| 1 1 / 2 2 | 寺口、工藤 | 5名の利用者と面談 特に問題なし |
| 1 2 / 2 0 | 寺口、工藤 | 6名の利用者と面談 特に問題なし |
| 1 / 2 4 | 寺口、工藤 | 4名の利用者と面談 特に問題なし |
| 2 / 2 1 | 寺口、工藤 | 6名の利用者と面談 特に問題なし |
| 3 / 2 0 | 寺口、工藤 | 5名の利用者と面談 特に問題なし |

※訪問回数 計12回 面談者数 延計62名

〈Ⅶ〉 地域生活支援

(1) グループホームすみれ荘

①住居 定員6名、現員6名（平成30年3月31日現在）
利用者内訳 （就労1名、就労継続支援B型5名）

②食事 メニューについては栄養面を配慮し、入居者の意見を聞きながら作った。
健康面を留意して、好き嫌いなく何でも食べられるように工夫した。

食事後の食器は、自分の分を自分で洗うように指導した。

- ③生活 新しいグループホームが出来たことにより、利用者の出入りがあった。入居メンバーが替わることによる多少の問題もあったが、現在は落ち着いた生活ができています。

世話人に対し、新しく入居した利用者のカンファレンスを実施した。

- ④内容及び次年度への課題

利用者の生活の安定と健康をはかり、住みやすい環境を作っていく。

バックアップ施設として訪問回数を増やし入居者の現状を把握することで、安心した生活と、何でも相談しあえる環境を作りたい。

(2) グループホームこすもす

- ①住居 定員6名、現員6名（平成30年3月31日現在）

利用者内訳（就労移行支援1名、就労継続支援B型5名）

- ②食事 メニューについては栄養面を配慮した。

健康面を留意して、好き嫌いなく食べられるように工夫した。

食事後の食器は、自分の分を自分で洗うように指導した。

- ③生活 当法人既存グループホームとは違う新しい生活スタイルのグループホームとして、平成28年11月より開所。一般のアパートに近い形になれるよう工夫した作りとそれによる自立度を高める。

世話人に対し、新しく入居した利用者のカンファレンスを実施した。

- ④内容及び次年度への課題

利用者の生活の安定と健康をはかり、住みやすい環境を作っていく。

バックアップ施設として訪問回数を増やし入居者の現状を把握することで、安心した生活と、何でも相談しあえる環境を作りたい。

〈Ⅷ〉 共同受注窓口

「津軽地区障害者就労継続支援事業所共同受注窓口 ふらわーずぶるーむ」

担当：鎌田 健司

今年度は昨年度に比べ各催事への参加数は減少しているが、毎月開催の「もったいない広場&ふくしまルシェ」への参加もあり参加日数は増加している。それに加え、昨年度に

引き続き「ノウクマルシェ」も開催し、前回よりも集客数・総売上金額も上回る結果となっている。

積極的に各催事への参加をしているが、委託販売を主として活動している為、各参画施設との商品販売に伴う取引価格の設定や食料品を販売するに伴い賞味期限を見越した商品発注など難しい課題が残った。

○月別催事売上

| | | | |
|-------|-----------|-------|----------|
| 「5月」 | ¥ 234,850 | 「11月」 | ¥ 65,920 |
| 「6月」 | ¥ 64,300 | 「12月」 | ¥ 12,890 |
| 「7月」 | ¥ 14,020 | 「1月」 | ¥ 4,920 |
| 「8月」 | ¥ 33,100 | 「2月」 | ¥ 13,720 |
| 「9月」 | ¥ 35,510 | 「3月」 | ¥ 14,900 |
| 「10月」 | ¥ 45,380 | | |

○年間催事売上 ¥539,510

○参加イベント

| | | |
|-------|---------------|-----------------------|
| 「5月」 | 28日(日) | 春の鰐 comeまつり |
| | 20日(土)～24日(水) | 大鰐温泉つつじまつり |
| 「6月」 | 3日(土)～4日(日) | まるごと大鰐商人市 |
| | 25日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| 「7月」 | 23日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| | 30日(土) | 夏の鰐 comeまつり |
| 「8月」 | 26日(土)～27日(日) | ノウクマルシェ in さくら野 |
| 「9月」 | 9日(水) | 第31回ふれあい広場 |
| | 17日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| 「10月」 | 14日(土)～15日(日) | 復興支援フェア in 鰐 come |
| | 22日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| 「11月」 | 19日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| | 25日(土) | 第12回アップルフェア in 鰐 come |
| | 26日(日) | 大鰐町文化祭芸能発表会 |
| | 29日(水) | 青森県社会福祉大会 |
| 「12月」 | 17日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| 「1月」 | 28日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| 「2月」 | 18日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |
| 「3月」 | 11日(日) | もったいない広場&ふくしまルシェ |

※イベント参加数 11企画 延参加日数 26日間

○次年度への課題

各参画施設の連携強化と販売計画の再構築が必要であり、イベント等で取り扱う商品集荷もこれまで以上に増やしていきたい。それに伴い、商品の PR・展示・販売の方法も改善が必要となる。

平成30年度は、青森県健康福祉部障害福祉課より「障害者就労施設工賃向上支援事業」の委託を受ける予定となっており、当圏域の就労継続支援B型施設と市町村との協議会の設置をし、その中において、工賃向上につながるための議論と実施をする。これを利用し、参画施設の連携強化と増を進めたい。展開案としては、各市町村庁舎及び市町村管理施設の活用における定期販売や、市町村が開催する各種イベントに使用する記念品の受注及び販売ブースの確保並びにその際に発生する役務などが考えられる。また、各市町村広報誌等を利用した製品のPR要請も行いたい。

〈IX〉 安全巡視（虐待防止委員会）

担当：佐藤直幸

（1）安全巡視実施日

| 実施日 | 担当者 | 実施内容 |
|--------|------------|--|
| 7 / 5 | 中平恵美・田中大生 | 法人事業所全部を訪問し 注意箇所を点検、事業会 議で報告し検討する。 |
| 9 / 26 | 植田善久・山川裕紀子 | |
| 12 / 5 | 竹内友紀・鎌田健司 | |
| 3 / 27 | 中畑幸・金枝友和 | |

今年度は3ヶ月に1回、キャンパス・ショップより各1名ずつ選出し実施した。前年度より改善箇所が少なくなっており、環境の整備がはかられてきたように感じる。

引き続き環境の整備の確認をしていきたいと思う。

（2）虐待防止委員会実施日

| 期間 | 実施日 | 担当者 | 実施内容 |
|---------|--------|------------|---|
| 4月～6月 | 7 / 18 | 中平恵美・田中大生 | 全職員の虐待防止チェック リストを集計し虐待防止委 議で報告、問題点等を周知。 |
| 7月～9月 | 2 / 14 | 植田善久・山川裕紀子 | |
| 10月～12月 | 1 / 23 | 竹内友紀・鎌田健司 | |
| 1月～3月 | 4 / 9 | 中畑幸・金枝友和 | |

・平成29年度より様式を変更する計画だったが、実施できなかった。平成30年度は実施するようにしたい。

・虐待防止委員会の内容も変更し、年度初め実施する目標を設定。1年間通して目標を達成する形式に変更。平成29年度の目標は地域に向けての虐待防止の呼びかけとし

て、パンフレット等を作成、設置を設定したが達成できず。平成30年7月末を期限に作成・設置したい。